



木炭収納庫



炭焼窯

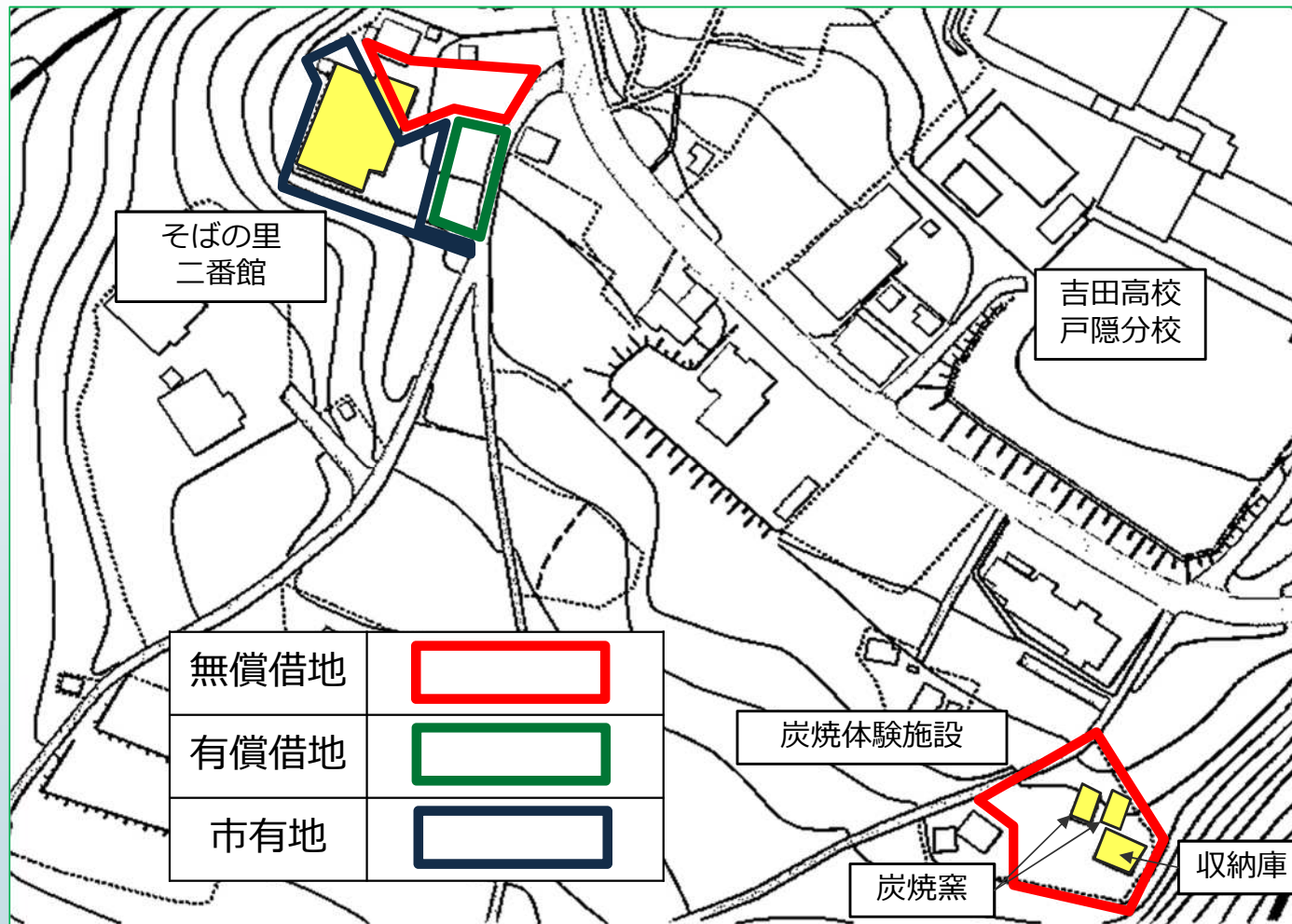
戸隠交流促進施設のうち 炭焼体験施設の廃止について

長野市商工観光部観光振興課
北部産業振興事務所

戸隠交流促進施設の概要

- 設置目的 都市住民等が滞在型農林業体験を通じて中山間地域に対する理解を深めることにより、都市と中山間地域の交流を促進し、地域の活性化と就業機会の拡大を図ることを目的に設置。
- 概要
- ①交流促進センター「そばの里二番館」 建設費180,782千円
木造2階建て 556.91㎡
長野市戸隠1584番地【一部借地】
 - ②炭焼体験施設（R元年から休止中） 建設費 8,000千円
長野市戸隠1483番地【借地】
 - ・木炭収納庫 38.88㎡
 - ・炭焼窯 11.56㎡（2基）
- 開設時期 平成8年4月 山村振興事業及び村債により旧戸隠村が設置
平成18年4月1日 指定管理者制度の導入 指定管理者 宝光社区

配置図及び施設用地の状況



利用状況等

利用者（人）	H27	H28	H29	H30
そばの里二番館	18,463	14,643	14,690	17,487
炭焼体験施設 体験利用 （職員研修）	0 (36)	0 (35)	0 (35)	0 (0)

- ・炭焼体験施設は、指定管理者と協議の上、令和元年度から休止。
指定管理者は、現在「そばの里二番館」のみ営業している。

そばの里二番館（円）	H27	H28	H29	H30
収 入	9,775,799	7,623,432	8,214,120	9,779,697
支 出	9,817,812	8,435,567	8,139,712	9,695,795
損 益	△42,013	△812,135	74,408	83,902

- ・炭焼体験施設の収入・支出ともに0円（H27~H30）
- ・長野市から指定管理料の支払いなし。

炭焼体験施設の課題と今後の方向性

- 炭焼き体験は、窯入れから窯出しまでに数日間かかることなどから、体験希望者がいない状況が続いている。
- 炭焼の熟練者が引退するなど、炭焼窯の維持管理、利用者への適切なサービスが提供できない。
- 建設後23年が経過した炭焼窯の破損や老朽化により、大規模な改修が必要となる。
- 借地である施設用地の土地所有者から、用地の返還を求められている。



○炭焼体験は体験型の観光としてのニーズが著しく低いこと。また、炭焼窯の老朽化や熟練者の引退などで施設の活用が見込めないことから、**廃止が妥当と判断。**

協議経過及び方針（案）

平成29年度～
令和元年7月

炭焼体験施設の今後のあり方について、指定管理者（地元区役員会）及び土地所有者と話し合い、施設の休止、その後、廃止していく方針を確認。

令和元年8月

指定管理者からの申出により、炭焼体験施設を休止。

令和元年11月

【戸隠地区区長会】
炭焼体験施設の今後のあり方を説明。意見等なし。
廃止について了承を得る。



- 戸隠交流促進施設のうち、炭焼体験施設を廃止（令和2年3月末）土地所有者に施設用地を返還していく。
- ※ そばの里二番館については、継続して地元区と施設のあり方を検討していく。

今後のスケジュール

令和元年12月	公共施設整備事前協議
令和2年1月	部長会議（1/7）、政策説明会（1/14）
2月	法規審査委員会
3月	3月市議会（条例一部改正） ・長野市戸隠交流促進施設の設置及び管理に関する条例のうち、炭焼体験施設の部分を削除
4月以降	解体撤去費用の予算化 ・撤去等概算費用 200万円（税込）